



各位

2026年7月22日

会社名 株式会社トリプルアイズ  
代表者名 代表取締役CEO 片渕 博哉  
(コード番号：5026 東証グロース)  
問い合わせ先 TEL. 03-3526-2201

### トリプルアイズ 2026年8月期第3四半期決算 Q&A に関するお知らせ

この質疑応答集は、2026年7月16日(木)に行われた 2026年8月期第3四半期決算発表に関して、投資家の皆様よりいただいた主なご質問と回答をまとめたものです。ご理解を賜ることを目的として一部内容・表現の加筆・修正を行っております。

なお、回答内容については現時点で当社が把握しうる限りの情報をもとにしております。

詳細につきましては、次ページよりご参照ください。

本リリースに関するお問い合わせ先  
株式会社トリプルアイズ  
東京都港区芝浦3-4-1 グランパークタワー32F  
電話：03-3526-2201  
MAIL：info@3-ize.jp

## Q1

グループ会社であるゼロフィールド社の全株式譲渡方針を決定しましたが、譲渡価格、譲渡先、スケジュールの見込みはどうなっていますか。

## A1

現時点におきましては、株式譲渡に向けた方針を決定した段階であり、相手先候補との NDA（守秘義務契約）の関係もございますことから、具体的な譲渡先や譲渡価格、詳細なスケジュールにつきましては、公表を差し控えさせていただきます。

もっとも、すでに売却プロセスおよび交渉には入っており、条件がまとまり合意に至った段階で、速やかに適時開示にて詳細をお知らせいたします。

## Q2

通期業績予想を取り下げた理由と再開示の時期について教えてください。

## A2

今回の通期業績予想の未定化は、決して足元の業績悪化によるものではなく、グループ会社売却に伴う会計上の手続きが理由でございます。

グループ会社譲渡の完了時期や売却額が未確定の段階では、連結 P/L への影響（非継続事業への分類や譲渡損益の算定）を合理的にお示しすることが技術的に困難であるため、一度未定とさせていただきました。

再開示の時期につきましては、合理的な予想数値の算定が可能となった段階で、速やかに開示いたします。

## Q3

自社プロダクトの成長推移を測る指標として、例えば導入企業数の伸び率やストック収益の成長率など、差し支えない範囲で共有いただける事業 KPI はありますか。

## A3

主要な KPI として、ID 数に基づく課金モデルの進捗状況をご説明します。

自社 AI プロダクト「アルろく」につきましては、第 3 四半期時点で、導入数に近い KPI で

ある ID 数が約 172%の伸び率、MRR は約 123%の成長率で推移しております。  
ただし、一般的な SaaS や AI サービスと比較しますと、現状の MRR 成長率はまだ不十分であると認識しております。引き続き、上半期から継続している大手顧客基盤・外部サービスとの連携強化や、カスタマーサクセス体制の強化、メインプロダクトの磨き上げを推進し、第 4 四半期はこれまでを上回る成長水準を目指してまいります。

## Q4

なぜ AI やデータセンター需要がこれだけ伸びている絶好のタイミングでゼロフィールド社を売却するのですか。

## A4

ご指摘の通り、データセンター需要や AI サーバー市場は、非常に高いポテンシャルを有していると認識しております。

一方で、このインフラビジネスをさらにスケールさせ、競合に対して圧倒的な優位性を築くためには、莫大かつ継続的な設備投資（CAPEX）が必要となります。当社の企業規模で、この重厚長大なインフラ事業と、当社の強みである軽快で高利益率なソフトウェア（AI ソリューション）事業を同時に、かつ中途半端に進めることは、投資効率（資本収益性）の観点から最善ではないと判断いたしました。

ゼロフィールド社が持つポテンシャルを最大限に開花させられるパートナーへバトンをお渡しすることが、同社の成長にとっても、また当社のリソースをコア事業である AI ソリューションに集中させ、株主価値を高めるうえでも、双方にとって最善かつ最速の決断であると考え、今回の譲渡方針を決定いたしました。

## Q5

トリプルアイズから BEX へのメンバーの「出向・常駐」や「東海地区の新部署設立」とありますが、具体的にこういったターゲットや案件を狙っているのですか？

## A5

ターゲットは、自動車産業の集積地である東海地区の自動車部品メーカー（Tier1／Tier2 等のサプライヤー）をはじめとする製造業でございます。

BEX がこれまで長年にわたり信頼関係を築いてまいりましたトヨタグループの設計現場に対し、トリプルアイズの技術メンバーが出向・常駐という形で直接入り込みました。これ

により、「現場の課題発見（BEX）」から「AI による超高速なシステム構築（トリプルアイズ）」に至る連携スピードが、劇的に向上しております。

まずは親会社や主要パートナーにおいて「年間 4,000 時間の工数削減」といった成功事例を創出し、これを東海地区の裾野の広いサプライヤー各社へと順次営業展開してまいります。これにより、来期以降、当エリアでの AI 受託案件をさらに一気にスケールさせてまいります。

**【参考資料】**

[2026 年 8 月期第 3 四半期決算説明資料](#)

本リリースに関するお問い合わせ先

株式会社トリプルアイズ

東京都港区芝浦 3-4-1 グランパークタワー32F

電話：03-3526-2201

MAIL：info@3-ize.jp